

2026年度
デザイン関連学会
シンポジウム

テーマ
「連関からひらくデザインの地平」
“Opening New Horizons
in Design through Relationality”

日時
2026年9月12日[土]
13:30～17:30(開場 13:00)

会場
京都工芸繊維大学
KYOTO Design Lab 2F
オンライン併用

参加無料・先着順

開催主体
主催 | デザイン関連学会
幹事学会 | 基礎デザイン学会
協力 | 京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab



douguology
forum

Society for
the Science of Design
Studies, Japan

Japanese Society
for the Science of Design

Society for Design and Art
Fusing with Science
and Technology

Japan Society of Design

現代においてデザインの対象は、単一の製品やサービスから、公共政策や社会課題を含む社会システム全体へと拡張している。例えば、気候変動、人口減少、エネルギー問題に象徴される現代的課題群は、技術、政治、経済、文化など多様な要素の相互作用によって形成され、多様な主体、制度、価値観の連関のなかで生じる複雑な課題である。そうしたデザイン対象の性質は、デザインによる持続可能な未来創造を困難にしている。

デザインは、こうした複雑で厄介な対象にいかに向き合うべきだろうか。領域横断的な視点と多様なステークホルダーの協働が不可欠であると同時に、従来の手法や思考の枠組みそのものを問い直す必要があるだろう。その再考は、デザインの新たな地平をひらくことにもつながる。

本シンポジウムでは、相互連関する社会の様相を捉える実践と理論を共有する。AIをはじめとする技術、身体性や日常性から立ち上がる関係、工芸制作、建築、デザイン政策、デザイン教育など、幅広い観点から、関係性を基盤とするデザインの可能性を議論する。

パネリスト

基礎デザイン学会

Peter Jones (Tecnológico de Monterrey)

十水内智英 (京都工芸繊維大学)

日本デザイン学会 北雄介 (長岡造形大学)

意匠学会 前崎信也 (立命館大学)

芸術工学会 金子晋也 (札幌市立大学)

道具学会 松山聖央 (岡山県立大学)

進行 | 小林昭世・水内智英 (基礎デザイン学会)

問い合わせ先 | 水内智英 (京都工芸繊維大学)

info@d-lab.kit.ac.jp

申込先 | KYOTO Design Lab. ウェブサイト



連関からひらく
デザインの地平